

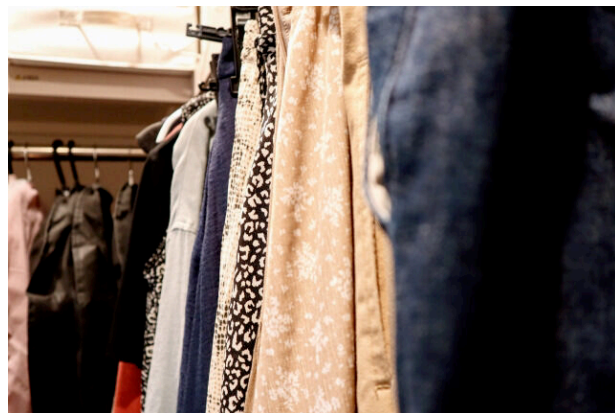
8割生活のススメ

2023年11月号

●今持っている服を長く大切に着ましょう

日本の衣類廃棄量は年間約“100万トン”。“1人あたり”なんと約26枚。洗濯表示を確認する、適切にケアする、先のことを考えて買うなど、気に入った1枚を長く大切にすることもサステナブル（持続可能）なファッションとの付き合い方です。

衣類の購入量を1/4程度にした場合は、1人あたり194kg相当の二酸化炭素を削減できます。



●出典：COOL CHOICE

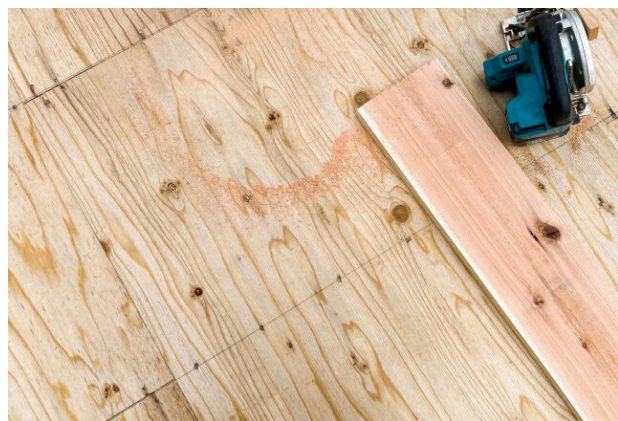
●暮らしに木を取り入れましょう

CO₂の吸収や国土を災害から守るといった森林の持つ多くの働きを発揮させるためにも、木材を使って森を育てることは大切なことです。

木のもつ調湿作用などは快適な室内環境につながるほか、木をつかうことで、植林や間伐等の森林の手入れにも貢献できます。

一般住宅を国産木材で建てた場合は1戸につき34kg相当の二酸化炭素を削減できます。

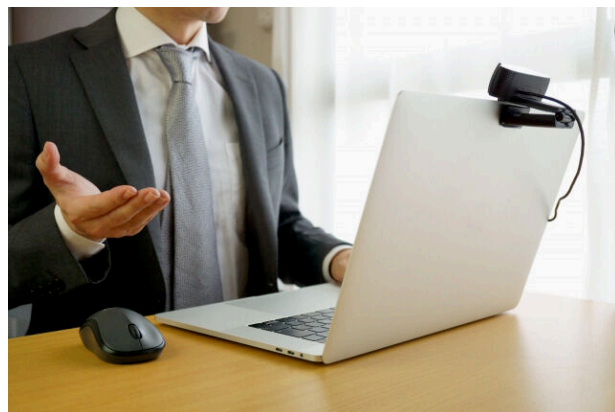
●出典：COOL CHOICE



●働き方の工夫を

テレワークやオンライン会議を選択できることによって、従業員のワークライフバランスの向上につながります。事業者にとってもテレワーク等の導入によって電力消費量やコスト削減効果も期待されています。通勤や出張による移動時間・費用の削減ができるほか、移動時間の節約で、時間の有効活用ができます。通勤にかかる移動距離がゼロになった場合、1人あたり279kg相当の二酸化炭素を削減できます。

●出典：COOL CHOICE



杵築市は2013年度比2030年の温室効果ガス削減量を46%に掲げました。2019年にはすでに26%削減が実現できているので、残る2割削減を、生活の8割相当を目安に取り組むことで実現していきます。